

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
編集者：代表幹事 高橋 賢一
連絡先：市民活動支援センター
尾張旭市渋川町三丁目5番地7
(渋川福祉センター内)
TEL 0561-51-2878



三島由紀夫の小説「潮騒」は
一九五四年の刊行。舞臺の報爲
は三重県鳥羽市の神島がモデル
である。

若い漁師と海女の恋物語で
若い漁師の母親も海女
小説では島の娘たちは
幼少時から海底の石をくわ

遊泳が海女になつて替もな
若い子は漁の香りを厭う。
また息苦しさ、水中眼鏡に
水が入つて来るとき、いしれぬ
苦痛もう二三寸で鮫に手が

とくしくとくしくとくしくとくしくと
襲う恐怖と虚脱感
といったものを恐れて
三島の名作は決して楽な集
ではないことを教える

鳥羽市と隣の志摩市も昨年
出漁した海女は五百人余り
半世紀で八分の一程度に減ったとい
う報道を見た。

地元を出て別の仕事に就く
若者が増えたといい、海女の環境
が変化し、海女の収穫は減少

黒潮大蛇行などで環境は変り
地域の海女漁の技術は国の
重要無形民俗文化財を守
るために知恵を絞らねばな
らぬ。